

# 安全データシート

## 【1 化学物質等及び会社情報】

社名 公益社団法人日本セラミックス協会  
住所 東京都新宿区百人町 2-22-17  
担当 標準化委員会  
TEL (03) 3362-5231  
FAX (03) 3362-5714  
作成 平成 14 年 11 月 18 日  
改定 平成 28 年 7 月 11 日

製品名 (社) 日本セラミックス協会認証標準物質 JCRM R901・902・903 タルク

## 【2 危険有害性の要約】

### GHS 分類

### 【物理化学的危険性】

爆発物	分類対象外
可燃性又は引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性又は酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	区分外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

### 【健康有害性】

急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入)	分類対象外
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性及び 眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
生殖毒性・授乳に対する又 授乳を介した影響	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない

**【環境有害性】**

吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生環境有害性（急性）	分類できない
水生環境有害性（長期間）	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

**【ラベル要素】**

対象外

**【3 組成、成分情報】**

単一製品・混合物の区別	単一製品																				
化学名又は一般名	含水ケイ酸マグネシウム(タルク)																				
CAS No.	14807-96-6																				
成分	<table> <tr><td>SiO<sub>2</sub></td><td>55～61 mass%</td></tr> <tr><td>MgO</td><td>31～32 mass%</td></tr> <tr><td>Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub></td><td>0.1～3 mass%</td></tr> <tr><td>Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub></td><td>0.1～2 mass%</td></tr> <tr><td>CaO</td><td>0.1～1 mass%</td></tr> <tr><td>TiO<sub>2</sub></td><td>&lt;0.5 mass%</td></tr> <tr><td>MnO</td><td>&lt;0.1 mass%</td></tr> <tr><td>Na<sub>2</sub>O</td><td>&lt;0.1 mass%</td></tr> <tr><td>K<sub>2</sub>O</td><td>&lt;0.1 mass%</td></tr> <tr><td>Ig. Loss</td><td>5～10 mass%</td></tr> </table>	SiO <sub>2</sub>	55～61 mass%	MgO	31～32 mass%	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.1～3 mass%	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.1～2 mass%	CaO	0.1～1 mass%	TiO <sub>2</sub>	<0.5 mass%	MnO	<0.1 mass%	Na <sub>2</sub> O	<0.1 mass%	K <sub>2</sub> O	<0.1 mass%	Ig. Loss	5～10 mass%
SiO <sub>2</sub>	55～61 mass%																				
MgO	31～32 mass%																				
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.1～3 mass%																				
Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.1～2 mass%																				
CaO	0.1～1 mass%																				
TiO <sub>2</sub>	<0.5 mass%																				
MnO	<0.1 mass%																				
Na <sub>2</sub> O	<0.1 mass%																				
K <sub>2</sub> O	<0.1 mass%																				
Ig. Loss	5～10 mass%																				
化学式	3MgO·4SiO <sub>2</sub> ·H <sub>2</sub> O																				
官報公示整理番号 (安衛法・化審法)	対象外 (天然物)																				

**【4 応急措置】**

吸入した場合	: 大量の粉塵が発生して、気管支に刺激がある場合には、速やかにその場所から離れてきれいな空気を吸い込むと、咳払い・痰・くしゃみ・呼吸困難は解消する。大量の粉塵を吸引した場合や、気分が悪い時は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 皮膚が乾燥した場合には、通常の加湿クリームを使う。傷にタルクがふれた場合には、中性洗剤か水で洗浄する。刺激はほとんどないがもし刺激等があれば、医師の診断を受ける。
目に入った場合	: 直接目に入ると刺激痛がある。速やかに水で洗い流す。洗浄後も痛みや目の赤みがとれない場合には、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 特に悪影響はないので、処置の必要はない。情報なし
予想される急性症状 及び遅発性症状	: 情報なし
最も重要な兆候及び 症状	: 情報なし

**【5 火災時の処置】**

消火剤	この製品自体は、燃焼しない。 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
特有の危険有害性	特になし
特有の消火方法	特になし

<b>【6 漏出時の処置】</b>	<p>人体に関する注意事項、保護具及び緊急措置環境に対する注意事項 回収、中和</p>	<p>粉塵濃度が暴露限界を超える場合には、防塵マスク（国家検定合格品）を着用する。 作業場に漏洩した場合には、ショベルで回収あるいは掃除機で吸引する。製品がきれい乾燥していれば適当な容器に入れて廃棄する。床の水洗は、床が非常に滑りやすくなるので好ましくない。 漏洩したタルクがすでに濡れている場合には、粉がなくなるまで水で完全に洗浄する。 危険でなければ漏れを止める。 床面に残ると粉塵が発生したり、すべる危険性があるので、こまめに回収する。</p>
<b>【7 取扱い及び保管上の注意】</b>	<p><b>【取扱い】</b> 取扱者の暴露防止</p> <p>安全取扱注意事項</p> <p><b>【保管】</b> 保管上の注意事項 容器包装材料</p>	<p>皮膚に触ったり、目に入らないようにゴム手袋、保護眼鏡を着用する。また、粉末を吸入しないように防塵マスクを着用する。必要ならば粉塵濃度を推奨暴露限界値以下に保つために、局所排気設備を設置または全体換気を適切に行なうことが望ましい。 容器は、転倒、落下、衝撃を加たり等の粗暴な取扱いをしない。</p> <p>直射日光及び高温多湿の場所を避け、密封して保管する。 透湿性の容器は避ける。</p>
<b>【8 暴露防止及び保護措置】</b>	<p><b>【管理濃度】</b></p> <p><b>【許容濃度】</b> 日本産業衛生学会 (2012年版) ACGIH (TLV) (2012年 度版)</p> <p><b>【設備対策】</b></p> <p><b>【保護具】</b> 呼吸器の保護具 手の保護具 目の保護具 身体の保護具 <b>【適切な衛生対策】</b></p>	<p>設定されていない。</p> <p>総粉塵 2mg/m<sup>3</sup> 2mg/m<sup>3</sup></p> <p>粉塵が作業場所を汚染しないように、設備の密閉化・局所排気装置の設置または全体換気を適切に行なうことが望ましい。</p> <p>必要に応じて適切な防塵マスクを着用する。 必要に応じて適切なゴム手袋を着用する。 必要に応じて適切な保護眼鏡を着用する。 必要に応じて適切な保護衣を着用する。 取り扱い後は手を洗うこと。</p>
<b>【9 物理的及び化学的性質】</b>	<p><b>【物理的状态】</b> 物理的状态、形状、色など 臭い pH 融点・凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 引火点 蒸発速度 燃焼性(固体、気体) 爆発範囲 蒸気圧 蒸気密度(空気=1) 比重(密度) 溶解度 n-オクタノール/水分分配係数 自然発火温度 分解温度</p>	<p>白色粉末 無臭 9.0 約 1500°Cで溶融する。 データなし 不燃性 データなし データなし データなし データなし データなし 2.7~2.8 水に不溶 データなし 不燃性 約 900°Cで脱水分解し、エンスタイ</p>

	粘度（粘性率）	トと二酸化珪素（無定形）になる。 データなし
<b>【10 安定性及び反応性】</b>	化学的安定性・反応性 危険有害反応性の可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物	: 通常の手扱い条件（常温）で安定。 : 強酸・フッ化水素と反応する。 : 粉塵の拡散 : 強酸・フッ化水素 : 情報なし
<b>【11 有害性情報】</b>	急性毒性 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷又 眼刺激性 呼吸器感受性又は皮膚感受性 生殖細胞変異原性 発がん性  生殖毒性 特定標的臓器毒性、単回ばく露 特定標的臓器毒性、反復ばく露 吸引性呼吸器有害性	情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし IARC（国際がん研究機関）分類 グループ3 （人に対する発がん性については分類できない） 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし
<b>【12 環境影響情報】</b>	生態毒性 残留性/分解性 生体蓄積性 土壌中の移動性 オゾン層への有毒性	情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし
<b>【13 廃棄上の注意】</b>	残余廃棄物  汚染容器及び包装	一般産業廃棄物として地方自治体の基準に従うこと。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処置を行う。
<b>【14 輸送上の注意】</b>	国際規制によるコード及び分類に関する情報 国連分類 : 該当せず 国連番号 : 該当せず 輸送の特定の安全対策及び条件 ・各種法規を遵守しなければならない。 ・容器の転倒、落下、摩擦等によって損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。また高温高湿、水濡れを防止する。	
<b>【15 適用法令】</b>	毒物及び劇物取締法 : 該当せず 労働安全衛生法 : 粉塵障害防止規則（第二条関係別表第一に掲げる作業） 大気汚染防止法 : 該当せず 水質汚濁防止法 : 該当せず 土壌汚染防止法 : 該当せず PRTR法 : 該当せず 消防法 : 該当せず	

---

**【16 その他の情報】**

- 1) 化学便覧：基礎編 改訂3版 日本化学会編
  - 2) 化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
- 

**<注意>**

この安全データシートは、製品の安全な取扱いを確保するため、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅しているわけではありませんので、お取扱いにはこの情報に基づき自らの責任において適切な処置を講じてください。

本SDSの記載内容は、情報提供であり記載した製品の取扱い上のいかなる保証をするものではありません。ご使用になるお客様の使用目的や使用した結果につきまして、いかなる責任を負うものではありません。